

みちの会だより

ホームページ <http://michinokai.net/>



『議員と語る会』開催

—COP10と市町・私たちの取り組み パートII—

平成22年10月14日（木）13:30～16:00 武豊町立中央公民館にて

男女共同参画社会と生物多様性について
「行政」「議員」「市民」が取り組んできたことと、
今後の課題について考える

スケジュール	13:30	開会
	13:35	今年度の活動報告
	13:50	ワークショップ
	14:40	グループ発表
	15:00	議員一言感想
	16:00	閉会

参加人数 議員32名 行政職員2名
会員46名



打ちあわせ



グループ発表



盛り上がる

ワークショップ



みちの会の大事な事業の一つ、議員と語る会を今年度も開催いたしました。

テーマは 昨年から引き続き“男女共同参画社会と生物多様性について・・・「行政」「議員」「市民」が取り組んできたことと、今後の課題について考える”。

今回は 昨年度の事業のまとめと今年度のこれまで行ってきた各事業をパワーポイントで短く紹介し、ワークショップに入りました。そこでは各市町の議員・会員とも限られた時間の中、時間を惜しむように話し合いがもたれました。また、今年は同時期、名古屋でCOP10が開催されており、話し合いはことのほか盛り上がった様子で、休憩中も話し合いは止まず、発表係はさぞ大変な思いをしながらまとめただろうと、その苦労がうかがわれる発表となりました。

これからの環境を考える上で「子供たちに机上の知識でなく体を使って体験させることが大事」など、大人の役割についても話し合い、議員からは財政の苦しい中での市民パワーを期待する声も聞かれました。人も自然の一部であることを謙虚に自覚して、いのちの大切さを改めて考える良い機会に恵まれたと感じた、議員と語る会となりました。

～伊藤美智子～

トヨタ白川郷宿泊研修(県外研修)

『自然から学ぶ生物多様性』

平成22年10月20日(水)

～21日(木)

トヨタ白川郷自然学校にて

参加人数 23名



1日目は、ネイチャーシアター映像と、インタープリターの解説で白川郷の自然を学び、日頃の生活とは違った世界である森の中のお客さんとして「おじゃましま～す」という気持ちになりました。19時30分から暗闇の森の中へナイトハイクに出かけ、私たち人間も森の生き物と同じように『感覚』を持った動物だったことを思い出しました。2日目は、森で暮らす動植物の生きる力と知恵を学びながら山道を約2時間歩きました。地球上で生きているものは、互いに影響し合いつながって生きていることを漠然とではなく、理解を深めることができました。

今回の研修では、地球の生き物という大きな視野で個性とつながりを学習しましたが、人間だけに目を向けて見れば、男も女も個性を出し合い自分らしく生きていくことが自然体だと思いました。最後に、夕食のフレンチと朝食はおいしかったあ～。合掌村の自由散策とバスの中のおしゃべりはたのしかったあ～。～H. I～

ナイトハイク・ガイドウォークで自然との一体感を味わった!

五感が磨ぎ澄まされていくのを感じた!!

ナイトハイクで静寂の夜を体感しました。森のガイドウォークでも鳥の声に、熊の爪あとに、ブナの大樹の姿に圧倒され声を失いました。声にならないほど感動し、改めて、「豊かな自然環境を残す努力をする約束をしなければ」と心に誓いました。五感を研ぎ澄ませ、地球上のすべての生き物のつながりを、全身で感じた研修でした。～M. S～

***** 報告 I *****

◇愛知県女性地域実践活動交流協議会

ウィルあいちにて

- 7月2日(金) ・年間計画の打ち合わせ
- 10月7日(木) ・各団体の活動報告と問題点について意見交換
- ・学習会について…講演会を行う

◇2010あいち男女共同参画のつどい

ウィルあいちにて

平成22年10月7日(木) 13:00～15:40

○講演…講師:渡辺 みどり氏

『シャネルの生き方とその背景～真の自立をもとめて』

○男女共同参画推進活動者表彰

会員の竹内より子さんと松本妙子さんが受賞されました。

講演会

『こんな時どうやって守る?』

～おんなの権利～

日時:平成23年1月18日(火)

10:30～12:00

会場:ウィルあいち

セミナールーム6

講師:山田 万里子弁護士

(地域実践活動交流協議会・【財】あいち

男女共同参画財団 協働事業)

いのちの多様性フォーラム JAPAN 参加『生物多様性とジェンダー・メインストリーミング』

平成22年10月2日(土) 10:00~16:00

ウィルあいちにて

第5分科会『ビオトープが育む生命(いのち)と心 ～学校と地域をつなぐ生物多様性～』

内容 ●船島小学校(東海市)の取り組みの紹介
●ネイチャーゲームを体験しよう!

参加人数 一般約10名 会員30名



- 開会
- 基調報告 堂本 暁子氏
『生物多様性条約の歩みと展望
～女性の役割』
- 基調講演 ジジ・フランシスコ氏
『開発とジェンダー』
- 分科会
- 全体会
- 閉会



生物多様性条約前文に「女性の参加の必要性」と明記されているのをうけ、愛知の女性が世界に向けて声を発することは開催地であり経済国の責任だと思いました。さまざまな立場の女性がそれぞれの課題や意見を熱く語り合う場となり、みちの会では生命と心を次世代へ引き継ぐことの意義を唱えました。COP10も閉幕した今、双眼鏡を手に近くの河原を歩けば20種類もの野鳥を確認することができました。姿かたちも鳴き声も飛び方も異なる愛らしい鳥たちが校舎の横を流れる川に飛来する様子を子ども達に知らせたいと思うのは、このフォーラムに参加したおかげでしょう。まずは気づくこと、そして動くこと。～M. K～

ウィルあいちフェスタ 参加

お話とワークショップ

『生物多様性と男女共同参画～私たちにできること～』

平成22年11月13日(土) 10:00~11:30

ウィルあいち(2Fセミナールーム6)にて

内容 ●ゲスト(事例集「いい人見つけた」執筆者)のお話

- A. 今光 加代子さん 『外国人研修生対象の有料バザー』
- B. 和田 本子さん 『地球温暖化防止推進活動』
- C. 阪野 信子さん 『古布再生』

●ワークショップ

- A、B、Cの3グループに分かれ、それぞれにゲストも加わっての話し合い。

参加人数 ゲスト3名 一般15名 会員30名



今光さん



和田さん



阪野さん



男性2名の方も

熱心に話し合いに参加

事例集の中の3人のゲストに、それぞれの生物多様性につながる取り組みについてお話いただき、ワークショップをしました。外国人研修生のニーズに合わせ不用品を仕分けながらバザーを行ってきた今光さんには、目立たない活動の中でも人と人がつながり支えあうことで分かち合える喜びがあることを教えられました。古布再生を手掛けてきた阪野さんは、裁縫という得意分野を活かし、楽しみながら「良いものを長く使う」という当たり前の価値観を作品を通して改めて思い起こさせてくれました。環境破壊を食い止める一手となりうるEMやボカシを紹介してくれた和田さんの体験談からは、地域が一体となって取り組むことの大切さを再確認できました。私たちにできる次なる一歩へのヒントはまだあると思います。～Y. K～

